

【企業・団体名】 株式会社 新日本科学

代表者 : 代表取締役会長兼社長 永田 良一

事業内容 : サービス業

所在地 : 鹿児島市宮之浦町2438

従業員数 : 1,256 名(男性 595 名、女性 661 名)

イクボス宣言をしている場合、宣言者とその年月日: - / -

【会社の取り組み(過去1年間の取組をご記入下さい。)

①従業員の子育てをはじめとするワーク・ライフバランスに配慮した取組について

- ・【新規】男性育休取得率100%の会社方針を周知し、対象者本人のみならず、その上司にも、個別に周知して、男性も育休を取得しやすい職場風土を醸成しました。
- ・【新規】夏期休暇、冬期休暇に関して、従来指定日の前後2ヶ月の期間に、本人が希望する日に取得できるようにしました。
- ・【新規】管理職研修にて、イクボスに関する項目を追加して、管理職の意識を変えました。

②業務効率を上げるための取組について

- ・【新規】従来、紙に手書き記載していた業務のほとんどを、PCのオンライン上で入力するように変更をして、業務効率を上げました。
- ・【新規】「イノベーション提案制度」を導入し、半年に1回、パート含めて全社員が業務に関連するイノベーション提案を行いました。その中で優れた提案内容に関しては、表彰し、プロジェクト化して、実際に実施。

③取組のアピールポイントについて

会社方針を明確に打ち出し、対象者のみならず、上司(管理職)の意識を変えるようにして、男性も育休を取得できる風土を醸成しました。その効果があり、男性も子供出生から1年以内に必ず育休を取得しております。

【これまでの実績】

- ・有給休暇取得率:57.0%(令和4年度)
- ・育児休業取得率:女性100%、男性 100%(令和4年度)

【社員の声】

- ・夫婦とも社員ですが、夫婦で取得できることに、感謝です。(20代夫婦)
- ・育児休業を取得することで改めて育児の大変さが分かり、特に共働きの場合は両立を支援してくれる職場環境づくりを進めていかないといけないと実感しました。(40代男性)

【今後の取り組み・目標】

- 1.制度を変える
現場の女性の声を経営に反映する。他社の取り組み事例を取り入れる。
- 2.環境を変える
制度を使いやすい風土を醸成する。男性が子育てに関わる機会を与える。
- 3.意識を変える
定期的に教育研修を行う。
以上の3点を組織に浸透させ、全ての人が働きやすい会社にする。